

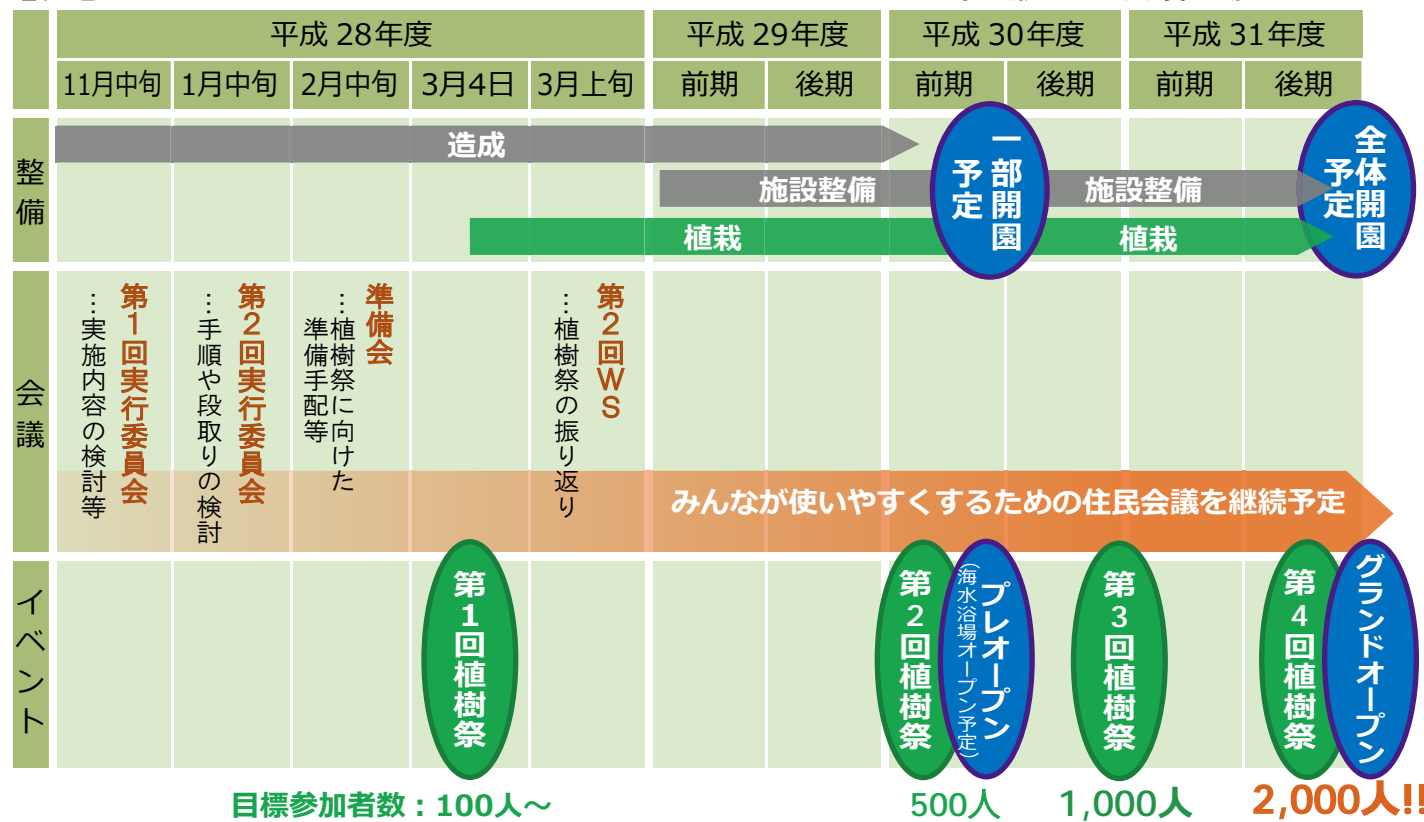
# 事務局より 今後のスケジュールのお知らせ

原釜尾浜防災緑地の植樹祭は、平成31年度の開園（予定）までに4回の実施を計画しています。今年度実施する第1回植樹祭は、住民の皆さんと植樹祭の運営を経験し、第2回は海水浴場のオープン予定に合わせて防災緑地のPRを目的に実施します。また、第3回以降は継続的に実施することで多くの人を集め、最後となる第4回は防災緑地のグランドオープンに合わせて、参加者2,000人を目指して開催します。

今年度は、来年3月に予定する植樹祭に向け、実行委員会にて具体的な内容について検討します。実行委員会は植樹部会とイベント部会から構成し、実行委員は興味がある部会に参加して実施内容を検討・準備し、植樹祭を運営します。

## 開園までのスケジュール

※工事の進捗により、予定が変わる場合もあります。



## 各部会の主な活動内容

- 植樹部会**
- ①植樹進行方法の事例紹介
  - ②植樹リーダーやボランティアの募集方法の検討
  - ③開会式などのメニュー検討
  - ④植樹リーダーやボランティアの作業手順の検討
  - ⑤役割分担
  - ⑥準備・段取りの検討

- イベント部会**
- ①植樹祭の実施事例紹介
  - ②植樹以外のイベントの検討
  - ③出店者の募集方法の検討
  - ④役割分担
  - ⑤準備・段取りの検討

### 第1回実行委員会のお知らせ

【日時】2016年11月28日（月）18:30～20:30  
 【場所】東部公民館  
 【内容】部会の立ち上げ・委員長・部会長の選出  
 植樹部会）植樹リーダー・ボランティアの募集方法・実施内容の検討  
 イベント部会）イベント内容の検討

### お問合せ・実行委員会参加申し込み

福島県相双建設事務所  
 復旧・復興部 道路・橋梁課

担当：吾妻・清水  
 電話：0244-26-1261  
 FAX：0244-26-1197



# 原釜尾浜防災緑地

かわら版  
第1号

## 植樹祭に向けたワークショップ

【発行】2016年11月

### ワークショップの主な内容

平成31年度の開園を目指して、今年度からは植樹祭に向けて取り組んでいます。第1回目となる今回は、これまでの振り返りや植樹祭の事例を紹介し、来年3月に植樹祭を行うこととなりました。またワークショップでは「どんな植樹祭にしたいか」「植樹祭でなにをしたいか」について話し合いました。



### 第1回ワークショップ 開催概要

日時：2016年10月20日（木）  
 18:30～20:00  
 場所：東部公民館  
 参加者：13名

第1回植樹祭は  
2017年3月4日(土)  
になりました!

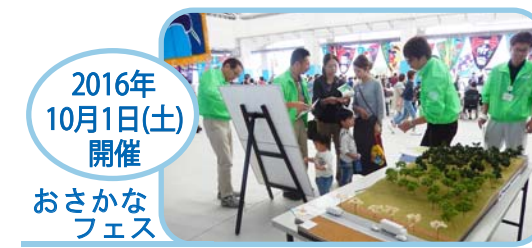
### これまでの経緯

福島県相双建設事務所は、原釜尾浜防災緑地の整備を進めています。

平成25年度から住民の皆さんと行ってきたワークショップでは、緑地の利用方法や整備内容の検討を行い、平成27年度には検討から活動に移行する第一歩として「そうま浜フェス2015」を開催しました。

浜フェスでは、防災緑地のPRと共に新たなワークショップ参加者を募集しました。また今年度は「ふくしまおさかなフェスティバルin相馬」でも同様にPR・募集を実施しました。

次回の植樹祭実行委員会の開催に向けて、実行委員を募集していますので、ぜひご参加ください!



参加者  
募集中

《H25年度の活動》  
 ワークショップ等：防災緑地の利用方法や緑地の内容について検討  
 《H26年度の活動》  
 ヒアリング：防災緑地の設計内容、運営管理体制、次年度以降の活動についての意見交換  
 《H27年度の活動》  
 ワークショップ・浜フェス：検討から活動へシフトし、「そうま浜フェス2015」を開催



# ワーク 植樹祭について考えよう！

来年開催予定の植樹祭開催に向けて「どんな植樹祭にしたいか」「植樹祭でなにをしたいか」というテーマのもとアイデアを出し合いました。ここでは、皆さんから頂いたアイデアの一部を紹介します。



## 植樹祭でなにをしたいですか？

## どんな植樹祭にしたいですか？



### ● ふりかえりシートより

- A) 自分の植えた木にネームをつけ、大きくなった時に分かるようにする。
- A) 尾浜原釜地区の被災者の植えた木に名前を付けてもらう。
- A) My treeは管理につながると思う。
- B) 津波に耐えた樺やケヤキなど最初の頃のWSに出た植樹を植えてほしい。
- B) とにかく植樹を早く実施して貰いたい。



### ● ふりかえりシートより

- A) 1人でも多くの方の参加を声かけする。
- A) 親子で参加。
- A) 多くのボランティア。100人でなく、100~200人でも良い。
- A) 学校の児童・生徒を対象にする。
- B) もっと地域の人をまきこんでいけたらいいと思う。

## 植樹

### 愛着・記念

名前が残るようなものと一緒に作る

植えた木に名前をつける

### 植樹方法

浜らしい形で植樹する(田んぼアートの植樹版)

漁協からの提供でホッキの殻などの肥料を撒く

廃校となる小中学校で植えていたものを防災緑地に植える

親子で植樹してほしい

元の住民の方の植樹

### 住民参加

### 子ども参加

学校に協力を求めるのなら、早く動くべき

高校生や中学生も巻き込みたい

小中学校の皆さんに声をかける

尾浜・原釜地区の住民の皆さん

## 参加

第1回はセミナー的にして、第2回以降は拡大する

第2回はイベント(穴掘り)したい

### 継続

おもしろければ口コミで広がる

次回も参加できるようにものを

## 継続

木の遊具づくり

ポケモンGO

### 遊び

子どもが楽しめるもの

バームクーヘンをつくる

### 飲食物

おさかなフェスのような、魚介類の販売をする

### 記憶

タイムカプセルを小学生の卒業に合わせて埋め

植樹祭参加のお子さんには、簡単な記念品を渡

### 会場

イルミネーション

写生会

## イベント

ステージでダンスしたり、羽目を外せる場

### ● ふりかえりシートより

- A) 小女子レシピコンテストで受賞したもの、浜焼きの復活等、イベントでの海の家的な場所づくり。
- A) 海産物のおいしい汁物を配りたい。
- A) 小学生の写生会を1回目・2回目〜と続けて開催。
- A) 植林本数が少ないので、イベントをからめないとあっという間に終わってしまう。

### ● ふりかえりシートの項目

- A) 来年開催する植樹祭においてやってみたいこと
- B) 自由記述(気づいた点・伝えておきたい点・疑問点など)